

出水期を前に、防災体制の万全を期するため

「平成29年度 洪水対応演習」を実施します

本年も梅雨、台風等による出水期が近づいていますが、出水時等の洪水予報・水防警報、ダム放流情報、海岸災害・土砂災害・防災情報の関係機関への迅速かつ適確な伝達、連絡を行い、防災体制の万全を期することが極めて重要であります。

このため、四国地方整備局高知河川国道事務所では、関係機関と協力して下記のとおり洪水対応演習を実施することとしています。

1. 実施日時・場所

日時：平成29年5月12日（金） 8：45～17：00

場所：高知河川国道事務所4階 災害対策室

2. 演習概要

- ① 出水状況に応じた防災体制の移行についての情報伝達の演習
- ② 情報の収集・連絡体制の確認
- ③ 関係機関への洪水予報、水防警報等の情報伝達の演習
- ④ ホットライン（電話）による情報共有の演習
- ⑤ 洪水時の河川水位予測の演習
- ⑥ ダム・水門など河川管理施設等の操作ルール・操作状況の確認及び情報伝達の演習
- ⑦ 地域の的確な避難判断・行動につながる情報等の提供
- ⑧ 水防活動に関する情報の集約・発信の演習
- ⑨ 迅速な広報活動等の演習 等

3. その他

演習会場での取材は可能です。

実施の可否については、別紙概要を参照してください。

平成29年5月9日

国土交通省 四国地方整備局

高知河川国道事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

－問い合わせ先－

国土交通省四国地方整備局 高知河川国道事務所

副所長（技術）： 岡林 福好 [内線:204]

○調査課長： 新川 和之 [内線:351] （○主な問合せ先）

TEL：088-832-0779 FAX:088-833-5357

「平成29年度 洪水対応演習」 概要

1. 目的

本演習は、出水時における洪水予測の実施、水防関係機関等への水防警報・洪水予報等の情報伝達、ダム・水門など河川管理施設等の操作ルール、操作状況の確認及び情報伝達、河川工事の現場関係者への情報伝達、被害の軽減を図る措置としての対策工法の検討等、実践的な演習を行う事により、防災体制に万全を期することを目的としています。

特に地域の的確な判断・行動につながる情報等の提供、市町村、防災関係機関、マスコミ、水防団等との関連など、地域との連携強化のための取り組みについても、各河川等の実情に応じて工夫し実施することにしています。

また、市町村自らが住民の避難に関する情報や各河川の特性を踏まえた危険箇所等の情報を的確に認識することが重要です。そのため、河川管理者と自治体間の情報伝達経路を確保し、実践的な情報を的確に伝達し、自治体と情報を共有することにより地域の防災活動を支援する訓練も併せて実施することにしています。

2. 参加機関

国土交通省、高知県、四国電力(株)、その他関係機関

3. 実施日時・場所

平成29年5月12日(金) 8:45~17:00

高知河川国道事務所 4階 災害対策室

4. 演習実施の可否の判断について

整備局、事務所、各県等において、演習当日に出水等が発生し、対応が必要（その恐れがある場合を含む）となった場合は、状況を踏まえ演習中止や延期、日程の短縮等を行うことがあります。

※開始の有無については、問い合わせ先にご確認ください。

※予定より早く終わる場合も考えられます。予め、ご了承ください。

5. 平成28年度の実施状況

